

全ての生徒にとって学びやすい紙面を目指して

特別支援教育への配慮

● **すっきりした紙面で
学びやすく**

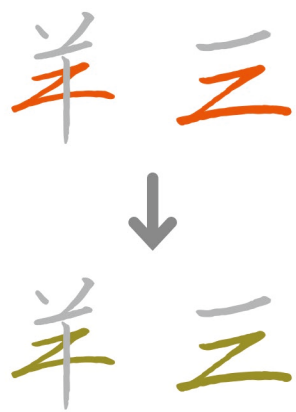
紙面に使う色や要素の数を抑え、学習に集中できるようにしました。また、原則として**文節で改行**することで、文章を読むことに困難を抱える生徒へ配慮しています。

毛筆基本単元では、**学習要素を同じ位置に固定**して配置しています。どの単元を見ても紙面のどこに何があるかが分かりやすいので、混乱することなく学習に取り組めます。

色覚多様性への配慮

色による説明を必要最小限に絞ったうえで、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色・デザインについて配慮しています。

教科書の配色
見え方の例
色覚特性のある生徒の



● 読みやすいUDフォントを使用

「書写のかぎ」など、だじなポイントには、読み誤りにくいユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用しています。中でも、**手書き文字になるべく近い字形**をもった、教育的配慮がなされたフォントを選んでいきます。

教科書で使用しているUDフォント
一般的なUDフォント

振り返る 振り返る



左利きの生徒への配慮

教材文字を上にも、書き込み欄を下にも配置することで、利き手に関わらず、**教材文字が見えやすいように工夫**しました。

令和3年度版

「点」からの連続	「点」からの連続	「縦画」からの連続	「横画」からの連続	楷書
シ	ツ	王	二	楷書
レ	心	五	三	行書
洋	清	受	学	行書で書く
		理	五	
		羊	三	

● 行書の点画の連続を理解して、動きを確かめながら書こう。
楷書の連続 筆脈の実線化
行書 次点画へ書き進める
ときの筆脈が実線になる。

「左払い」からの連続	「折れ」からの連続	「点」からの連続	「横画」からの連続	楷書
ㄥ	口	ㄣ	ㄥ	楷書
ㄥ	口	ㄣ	ㄥ	行書
名	午	仲	口	行書で書く
		写	実	
		圧	光	

● 点画の連続 直接連続
楷書 点画の終筆と次の点画の
行書 始筆を直接つなげて書く。

右手でも左手でも教材文字を
しっかり見ながら書けます。

平成28年度版

直接連続	筆脈の連続
ㄥ	ㄥ
点画が直接つながる	筆脈が実線になる

左手で書くと手で
教材文字が隠れてしまいます。